

MACHI-KADO

(財)静岡市文化振興財団

大谷随想録

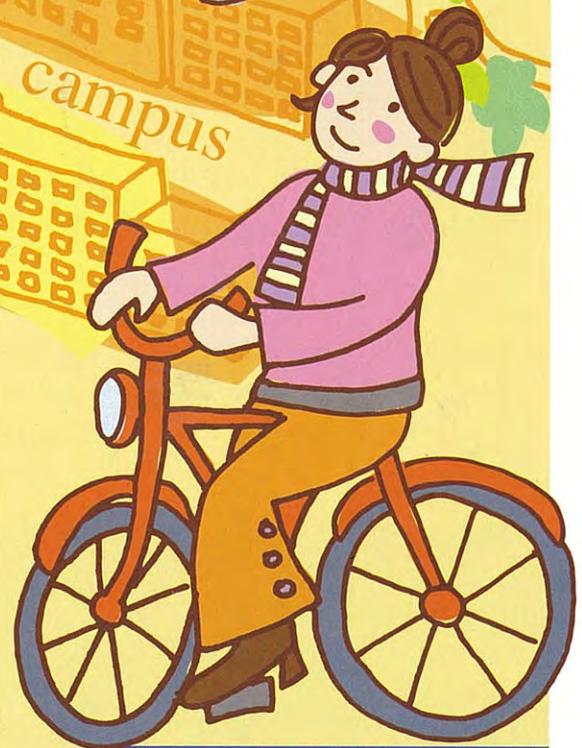
あの日あの時

路地裏散策
曲金・小鹿・大谷

特集
大学へ行こう!!



campus



Information

(財)静岡市文化振興財団インフォメーション

静岡音楽館AOI

コンサートシリーズ2005/2006

あの日

あの時

大谷随想録



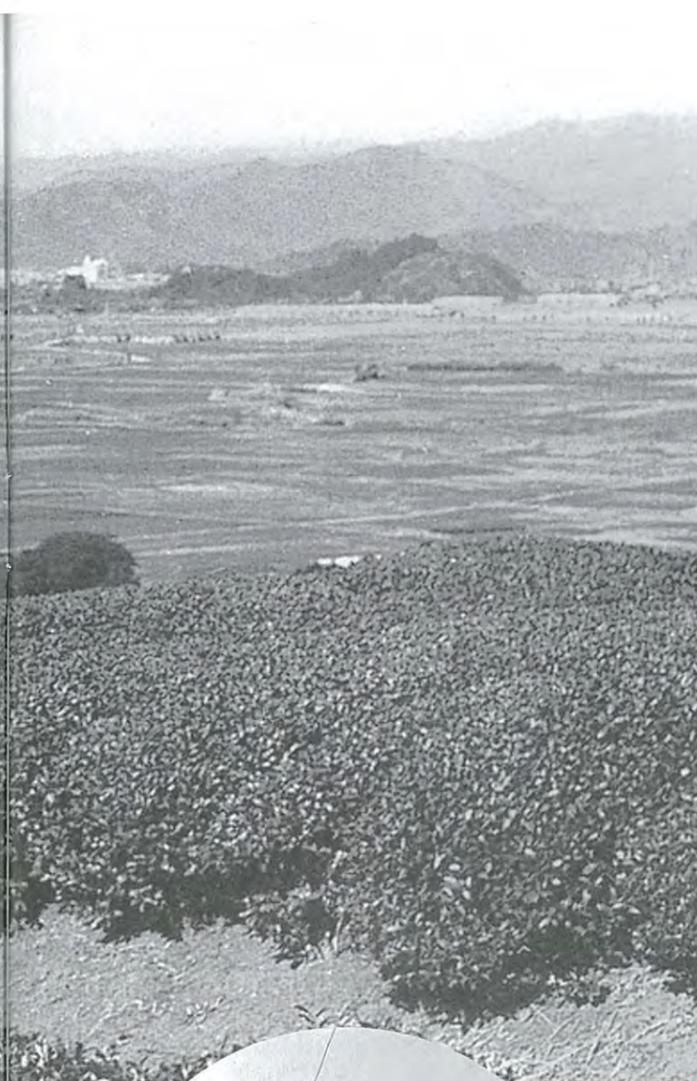
▲大谷の山より見た静岡の街方面。当時は高所よりの撮影は禁止だったので◎にしていた。(昭和14年)

大谷は今も田畑が随所に見られる昔からの農業地域。「昔はなんにも無かったな、ふつーの田舎だったよ」。語るのは大谷在住の増田作一郎さん。静かな物腰で語るその仕草と、当時ののどかな大谷の姿が近似する。その大谷の転機は東名高速道路建設と静岡大学移転だったそうだ。

◎有度山西南麓一帯に位置する小鹿～大谷地区。その昔、山の松林では松茸が採れたそうだ。明治30年代には大谷、小鹿、池田各地区に、それぞれ山の所有者と地元の青年団等による組合(組合員は全員男性)が作られていた。案内人の配置を行ったり、山に簡素な小屋ではあるが休憩処を設けて、松茸ご飯やお吸い物、煮物など、当時(今も?)では豪華なメニューを客に提供していた。徳川家16代当主で、当時貴族院議員であった徳川家達氏もかつては訪れたそうだ。茸採りの名人がいて、各自“隠し代”(代=茸の生える所)を持っていた。所在は他人には絶対に教えず、その松茸は専らお土産用の商品となっていたそうだ。ところが、時代とともにプロパンガス・灯油等の燃料が薪の代わりに台頭し、だんだんと山に人の出入りがなくなると、自然に山が荒れてきた。松林は松喰い虫により枯れ始め、現在松茸は全く採れなくなってしまったそうだ。非常に残念なことである…。



▲北原村(小鹿)にあったどんぐりころころの池(昭和30年)



▲当時の民家(昭和14年)

◎池田、小鹿辺りは今でも茶畑が見られるが、大谷も昔は茶園(俗に茶原と言った)が多かった。安政年間の横浜港の開港により、茶は輸出品としての需要が高まった。有度山麓の茶は藁科・安倍川筋山奥の本山茶に対して“新山茶”として輸出された。増田さんの曾祖父さんは当時、安倍郡茶業組合の組合長をなさっていた。見せていただいた明治時代の貴重な写真には、今では珍しい当時の製茶用の機械を写したものを多く見ることができた…。

増田さんのお宅に伺った時、玄関を入ると先ず床が目に入った。今はコンクリートで固められているが確かにその昔、土間であった様子がうかがえる。今度は上を見上げてみると、渋い色を醸し出す太くて立派な梁が交差する。この家は、天保9年に建てられ、既に160年以上の歳月を経ているという。「昔はどっこもみんなこんな家だったよ。屋根は瓦に変えたけれど藁葺きで、中は“田の字型”の作りになっていて、天井は踏み天井に屋根に敷く藁を貯蔵していて、土間には内職できるように藁をたたき丸い石の台が埋めてあってね。大谷はどっこも田畑で、お店はたばこ屋さん一軒だけだったよ」。ぜひこれからも末永く住んでほしい。

大谷を大きく変えたのは、静岡大学と東名高速道路。それを機に商店が移り住み、家は次々と瓦の家に建て替えられた。その後、新しく引越してくる人々や学生達によって、新しい大谷が作られ始めた。

大谷をはじめとするこの地域の“今”の魅力は、この後のページをぜひめくってほしい。



▲北原村(小鹿)のたばこ乾燥小屋(昭和30年)

大谷の田植えの風景(昭和29年)▶



▲製茶業初期に使用していた精揉器(昭和40年代)





路地裏散策

曲金・小鹿・大谷地区を4つのエリアに分けて紹介。
静岡大学、競輪場等の知られざる一面もクローズアップ。
秋風に誘われて、ぐるっとwatchingしてみましょ!

1 軍神社

8月1日の大祭で花火を奉納することで有名な曲金軍神社。桓武天皇(737~806)御宇の草創と伝えられる古い神社である。

境内には巨木のクスノキが数多くある。一番大きなものは「静岡県の巨木」ベスト100中84位にランクされる巨木であるが、軍神社のすばらしいところは、巨木が11本も揃っている「巨樹群」であることだ。

夏、近所の子供たちの歓声が響く、緑多き空間、それが曲金軍神社である。



2 静岡地方気象台



気象台では、日常の天気予報や台風、暴風、大雨などについての警報・注意報や、地震災害に関する情報を防災機関や県民に提供している。

気象台の業務では他にも、ウメやサクラの開花した日、カエデ・イチョウの紅葉した日などの植物季節観測や、ウグイス・アブラゼミの鳴き声を初めて聞いた日、ツバメ・ホタルを初めて見た日など動物季節観測を行っていることは、意外と知られていない。気象台には観測する対象の木(標本木)が何本もある。



来年のサクラの開花がいつになるか、今から気になるところ…。



人気 No.1

3 パンの豊月堂



昭和4年創業、パンの豊月堂は、「素材にこだわった昔ながらの老舗の味」として、多くの人々に人気がある。社長の戸塚さんは「当店では素材のいいものを使っているの、自信があるんですよ」と語ってくれた。店一番のおすすめは「あんパン」と「メロンパン」。

豊月堂のもう一つの顔は、学校給食用パン・ご飯を提供していることだ。現在、旧静岡地域の小中学校16校へ約10,000食を提供している。率にして26%になる。旧静岡地域の子供たちは、小中学校の学校給食で一度は豊月堂のパンを食べていたことになるが、知っていたかな?。



4 「背くらべ」西豊田小学校



最近の小学校の教科書には「背くらべ」の歌が載っていないため、一般の子供たちがこの歌を歌う機会は減多にない。

「背くらべ」の作詞者「海野厚」の出身校西豊田小学校では、「背くらべ」の歌詞に歌われている「兄弟愛」の精神を特別活動で取り上げている。

4月の1年生を迎える会を「せいくらべ出会いの会」として、また、例えば6年生と1年生が相棒として組む異学年交流や、総合学習で学年毎に学習したことを、毎年11月頃「せいくらべ祭り」として、その成果を発表している。

異学年交流で知り合った1年生が相棒である6年生を卒業式で送り出す時、涙して送る姿が見られるという。海野厚の優しさが、今の子供たちに受け継がれているようだ。



5 天神の湯



一番忙しい人の近くに、本格派天然温泉！
天神の湯は、街中にいながらリゾート気分がたっぷり味わえる癒しの施設だ。
天然木の天然温泉風呂をはじめ、塩の湯、変わり湯、露天風呂、黄土サウナ、ロッキーサウナ等、様々なお風呂とサウナが楽しめる。また、温泉だけではなく、ボディケア、マッサージ、整体、エステ等の癒しのオプションも充実している。健康になるための心配りが随所に感じられる。

お風呂上りはなんとと言っても、ビール。館内2階レストランで飲む3種類の「御殿場高原ビール」をキューッと飲む一杯がたまらない。5階「漁火」には、日本全国から集めた約2,000種類の焼酎が用意されている。
午前10時～翌朝午前9時までの23時間営業。12歳未満のお子様のお入場ができないので、「大人のための癒しのリゾート」として、一日ゆっくり楽しめるのが魅力だ。
地下深くから湧き出る温泉につかっていると、嫌なことはみんな忘れちゃいそう…。
「さて、明日からも元気に頑張るぞー！」という声が聞こえてきそう。

7 小鹿商店会



小鹿商店会では、商店会の活性化を図ろうと、様々な企画を行っている。
3年前から実施している「バンビスタンプ」は人気。100円のお買い物ごとにもらえるスタンプは、かわいいバンビ(=小鹿)がトレードマーク。台紙にスタンプを集めれば、現金つかみ取り、抽選会、旅行などのイベントの参加券になったり、500円分の金券になったり、特典がいっぱいだ。
また、毎年8月には静岡県立大学短期大学部のグラウンドで夏祭り

を開催。地域と密着して行われるこの夏祭りは、約1,500人ももの来場者を迎え、毎年大賑わいを見せている。飲食やおもちゃの出店はもちろん、手作りのスマートボールまで登場。コンサートやカラオケ大会も開催される等、お年よりから子どもまで楽しめるお祭りだ。
地域やお客様一人一人とのつながりを大切にする小鹿商店会。大型店にはない「あったかさ」が感じられる。

6 南部じまん市



奈良時代より静岡には、万葉集の中の春日蔵首老の歌にも出てくる『安倍市』があった。この頃より駿河国一帯は大和王権の統治下に置かれ、市も管理されていたと思われる。在地の物はもちろん、他の土地の物も市では盛んに取扱われ、多くの人々で賑わったようである。経済・物流の原型がそこにはあったのであろう。

JA静岡市が経営する『南部じまん市』は平成16年4月の開店以来右肩がりの好調で、農業を営む人のためのファーマーズマーケットは、自然食品ブームの影響もあり、購入者の絶大な支持を獲得している。市の一番活気のある時間は午前中。しかも開店9時から既にピークを迎え、午後には全体の8割の商品が売れてしまう状態である。1日の始まりは午前7時頃。商品を納品するため近隣の生産者が集まり出し、店内の陳列から値段を付けるところまで全て行い、開店と同時に店内は生産者とお客様との様々なやり取りが始まる。商品の説明が聞けたり、調理の方法を教えてもらえるなど、欲しい情報を直接入手することができる。なおかつ、安全で新鮮な旬の野菜等を安心して手頃な値段で購入できる。食の安全性について不穏な事件を耳にすることの多い昨今において、見事に消費者のニーズをつかんでいる。実はこれらが市の原型の姿なのであろう。生産者と客が直に売買し、交流を図る。地域住民はもちろん、市外に至るまで魅力を発信できるのは、市の原型を伝承している「場」だからこそなのであろう。『南部じまん市』にはかつて『安倍市』に始まった市の姿を彷彿させる何かが、新しい時代に順応しながら生き続けているような気がした。



8 静岡競輪場

静岡競輪には50年の歴史がある。
戦後の混乱期中、昭和23年8月1日に自転車等機械工業の振興と地方財源健全化の寄与を掲げて自転車競技法が公布され、最初の競輪が同年11月に小倉で開催された。

静岡競輪はそれから5年後の昭和28年春に全国で63番目に誕生した。
10年後の昭和38年3月、競輪場施設は民間会社から静岡市に譲渡され今日に至っている。静岡市の財政や市民生活の向上に大きく貢献し、小鹿商店街や周辺の飲食店も競輪場の歴史とともに繁栄してきた。

レースを見た感想はJリーグやプロ野球のような感動的なスポーツ観戦そのもの…。
競輪場内の飲食店は13軒もあり、その代表の静岡競輪フード協会会長の井上周一さんにお話を伺った。

「昔のお客さんは地面に座り込んでいたけど施設が新しくなってからは見かけない。以前は威勢が良かったですね。この売店は静岡では名の通ったお店ばかりです。今は、息子さんやお嫁さんが引き継いでいます。店の仕込みは朝の6時位から始めて営業は午前10時から午後4時半までです。自慢の味はおでんの「牛ふわ」です。牛ふわは牛の肺です。フライにしてもおいしいですよ。」



どの売店もボリュームたっぷりのおにぎりやフライが所狭しと並んでいた。さあ、迫力あるレースを観戦してボリュームたっぷりのお昼はいかが？。



「競輪」って知っている？

- 競輪場は20歳以上なら車券を購入できるが、学生は購入できない。(根拠法令 自転車競技法第7条の2)
- 車番は1番から9番までの番号でユニフォームの色も番号で決められている。1番は白。遠くても色で番号がわかるから、応援しやすい。(ガンバレー！)
- 冷暖房の利いた特別観覧席(有料)は禁煙。喫煙所が別にある。

「静岡競輪」って知っている？

- 静岡競輪場ライブラリー…図書館があるが、開催日はお休み。
- 子供遊び場…カラフルな滑り台にジャングルジム、かわいいシーソー。
- 平成16年度実績…
 - 開催回数13回
 - 開催日数73日
 - 入場者数492,307人
- この他に場外レースが144日





9 健康文化交流館「来・て・こ」～来てごらん・手をとって・ここからはじめよう～

「来・て・こ」は、幅広い世代が利用する施設として「健康・文化・交流」をキーワードに、地域コミュニティーの核となることを目指し平成16年春に誕生した。

1階は、小鹿老人福祉センター。60歳以上の方を対象として、リフレッシュルーム、大広間、和室を備え、健康の増進、教養の向上、仲間作りに最適な環境を提供している。

さらに、区役所に行かなくても、住民票の写しが取得できる市民サービスコーナーもあるので非常に便利だ。

2階は、南部勤労者福祉センター。勤労者を対象として、エアロビクススクール、パソコン講座を実施し、充実したトレーニングルームでは、インストラクターによるアドバイスも行っている。各自にあった安全なトレーニングが可能だ。

3階は、生涯学習センター。市民の自発的な活動を支援し、地域の交流や連携を深めることを目的としている。主催事業も充実しており、今年度は、夏休み企画として、父親と子どもの交流促進のための「お父さんとうどん打ち」を開催した。また、読み聞かせボランティア養成講座を実施し、受講生達は11月から読み聞かせ会を実践していくなど、活動に広がりを見せている。今後も各種事業から目が離せない。



開館時間
午前9時～午後9時30分(ただし、老人福祉センターは午後4時まで、市民サービスコーナーは午前8時30分～午後5時)

休館日
日曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12月28日～1月5日)
※市民サービスコーナーは、土・日曜日、祝・休日、年末年始(12月28日～1月3日)

問い合わせ
健康文化交流館「来・て・こ」
駿河区小鹿二丁目25-45
電話054-202-4300

10 カットスペース フリースタイル

二つ池とSBS通りの間の小道に2軒仲良く並んだ美容室。それが、「カットスペース フリースタイル」と「中村理容室」だ。「中村理容室」は「フリースタイル」のオーナー明博さんのお母様が約20年もの間営んできた理容室。平成12年、別店で修行を終えた明博さんが、老いも若きも男も女も自由にあなたの“フリースタイル”を、という意味を含め、理容室をさらにパワーアップさせる意気込みで美容院をオープンさせた。店の入口に置かれた木彫りの看板は、その当時明博さんが



自ら手作りのものだそう。客層について尋ねると、近所の方々や昔からのお客様に加え、静大に近い土地柄、学生の来店も多いとのこと。取材に訪れたこの日も、来店していた男子学生とスタッフとの楽しそうなやりとりと笑い声が店いっばいに広がっていた。家族経営ならではのアットホームな雰囲気と、人懐っこいスタッフの気配りが訪れた学生のハートをがっちりつかんで離さない。時には卒業し、故郷に帰った学生が、店を懐かしみ思いがけず立ち寄ることもあるのだそう。

残念ながら「中村理容室」はまもなく閉店…。でもかわりに明博さんの妹さんの新しいお店が同じ小鹿にオープン予定! 中村“美容師”一家の活躍は、昔も今もこれからも、この小鹿のまちで続いていくことだろう。



12 小鹿山龍雲寺

永禄4年(1561年)、当時の小鹿村のほぼ中心地に開山した小鹿山龍雲寺。宝暦9年(1759年)に建造された本堂は、明治時代に学制が布かれた際には仮の学校舎としても活躍、東豊田小学校の誕生の地と称される。昭和61年、その本堂は老朽化が原因で取り壊されてしまったが、実は250年近くもの歴史を持つ由緒あるお寺なのである。その取り壊しの際、久能山東照宮の宮司であった出島竹齋によって明治12年に記された木札が見つかり、その内容をもとに現在門前にある「東豊田小学校発祥の地」の記念碑が造られたという。



「おや、どこにお寺が?」とお思いになるかもしれないが、実は門をくぐって左手にある建物が新しい本堂。常駐ではないものの大正寺の住職が住持を兼務し、二人の世話人が日々の管理を行っている。そこには今も、昔の姿を物語る梵鐘や瓦等の品々が大切に保管・陳列されている。

13 伊勢神明社の大クス

小鹿にある伊勢神明社は、上を見上げると樹木の枝葉で覆われ“昼なお暗さ”所である。よくよく見ると境内の空の半分以上は1本のクスノキで占められている。樹齢およそ一千数百年。現在大クスの周りは金網で仕切られ、直接触れることのできない様になっている。

大クスは昭和61年頃に窮地に立たされた。クスノキは常緑広葉樹である。従って落葉することはないのだが、ある時突然激しく落葉し始めた。只事ではない様子に調査をしたところ、大クスより10m程離れた市老人福祉センター(当時)の駐車場のアスファルト舗装が巨木を支える根に影響を及ぼしたのだ。そこで立ち上がった氏子である地元住民達の必死の働きかけにより、静岡市は幹に栄養剤の注入と周辺地下に肥料を投与。また、原因であるアスファルトを剥がし砂利に変え、何とか“枯れ死”を回避することに成功したのだ。

御神木のすぐ近くでは、毎月第2・4土曜日に地元の農家の奥さん達による小規模ながらも朝市が開かれている。採りたての野菜、自家製の和菓子や漬物などが並ぶ。時間になると、何処からともなく近所の人達が集まってきては世間話が飛び交う様を、大クスは変わりなく静かに見守っている。

ガラスに貼られた
静清信用金庫の
キャラクターは、
職員の手作り。



14 静清信用金庫小鹿支店

静清信用金庫は、大正11年に地域の金融機関として、静岡の街に生まれ、小鹿支店は36店舗目の支店として平成元年にオープンした。預金や融資の相談はもちろんのこと、本来の業務以外の相談にも応えてくれる等、地域の方々の力強い味方として頼りにされている。

法律・税務相談受付や年金相談に加え、支店ロビーのスペースを医療機関等に提供し、「介護健康相談等」などに利用していただいている。一見業務とは無関係に思えるが、地域の方々の強い要望で実現したもので、地域を大切にする小鹿支店ならではの取り組みだ。

また、店頭ロビーの展示コーナー提供も行っており、趣味展や地域のお知らせコーナーとして、幅広く利用されている。

小鹿支店は、地域と共に歩み、地域のお客様に根ざした頼もしい存在だ。



11 田宮園

自園自製自販のお茶屋。ここ小鹿の地で、代々お茶を生産している。お茶どころ静岡でも、生産から加工、販売まで一貫して行うところは多くないそうだ。主に扱っているのはやぶきた茶。このやぶきた茶も静岡市で誕生した品種だ。



ご主人の田宮勇二さんはエコファーマーの認定を県知事から受けている。エコファーマーとは、堆肥等による土作りと、化学肥料・化学農薬を減らすための生産方式を導入する計画を立て、県知事に

認定された農業者のこと。簡単に言えば、環境に優しい農業者といったところだろうか。食の安全性や生産者の顔の見える作物に関心の高い今、こういった認定を受け、生産から販売まで行っているのは安心できる。

1年中お茶は飲めるが、やはり一番おいしいのは新茶だろう。八十八夜の季節は大忙しとのこと。摘む時期が早過ぎてもおいしくないし、遅過ぎると虫がつくそうだ。この時期以外でも、土作りや除虫等管理作業が1年中続くとのこと。普段何気なく飲んでいるお茶だが、私たちの手に届くまで心を込めて育てられたお茶を、たまにはゆっくり味わって飲みたい。





17 タミヤ

タミヤの前身である田宮商事(資)が小鹿の地に設立されたのが1946年。1948年より木製模型の製造販売を始め、静岡から模型ホビーの楽しさを日本のみならず世界に発信し続けている。

タミヤ本社では平日の営業時間内であれば、受付に申し込めばショールームや歴史資料館などさまざまなタミヤの商品や歴史を見ることが出来る。ショールームには最新の商品が並び、歴史資料館ではタミヤが発信し続けてきた模型文化の歴史を見ることが出来る。訪れる人の年齢によって立ち止まる場所が違うのだとか。

またタミヤの活動は製造販売のみでなく、ラジオコントロールカー用のサーキットの運営やホビーショー、会社見学会、奨学制度などさまざまな活動を行っている。ホビーショーの開催中は本社を「オープンハウス」とし、工場内部や開発部門など普段見ることができないところまで公開し、また同時に工作教室なども開催している。また、各分野の新進音楽家の活動を支援する場として「タミヤ・コンサート・ナウ」を入場無料で定期的に開催するなど、文化支援にも取り組んでいる。

大人も子どもも楽しめる模型ホビーの世界を堪能しただけで満足せず、今年よりオープンした社内ロビーにあるショップでのお土産も忘れずに。



18 片山廃寺跡(国指定史跡)

大谷にはとても不思議でミステリアスな史跡がある。大谷街道を南に下り、東名高速道路に突き当たった所。道路に分断されながらも静かにそこにそれは在る。看板はあるが一見どこが史跡なのか全くわからない。暫定整備された広場は、草が一面生えた公園なのか…。変哲もないその場所は、奈良時代後半から平安時代前半に在ったとされた大規模な寺院跡なのだ。全ての姿はまだ解明されていない。もしかすると当時の駿河国の国分寺ではないかという説を持つ寺院だ。(国分寺に必ずあるという七重塔跡が未だ発見されておらず、国府の所在地跡と距離が離れているため、有力豪族の氏寺という説も共に有力である。)

や陶器の硯の一部が土から顔を覗かせた。この時は僧房跡から礎石が発見され、僧房の全貌が明らかになり、それは法隆寺及び出雲国分寺をはるかに上回る規模であることが判明した。ということは、それだけのお坊さんがそのお寺にいたということだ。その他鐘楼跡、廻廊跡、南大門跡の発見から、片山廃寺は二町四方の境内を持つことが判明した。さらに、出雲国分寺と同じ堂塔配置であり、それよりも大きい建築であることも想定された。とにかく規模が大きい! このまま一気に駿河国分寺説に移りたいところだが、肝心要の決め手となる七重塔が現在も発見されず、この廃寺跡は謎のままである。ひっそりと佇んでいたが、最近では大谷街道発展会によるイベントを開催するなど、地域交流の場として活躍する一面もある。

大谷在住の増田作一郎さんに出会った。増田さんは片山廃寺跡の2次調査に高校生の時に参加したそうだ。大谷は弥生時代から古墳時代の遺跡も数多く発見される地区。当時の発掘作業は地元の青年団を中心に行われ、郷土研究部が盛んな静岡工業高校をはじめ、市立高校、静岡高校、清水西高校の生徒も多く参加したそうだ。発掘作業はトレンチ(溝)を掘り進める作業の繰り返しで、とにかくひたすら土を掘り続けた。仲間となった作業員一同、「何が出てくるだろう?」と期待で胸を膨らませながら地道に掘っていくと、瓦の破片



15 二つ池

夏真っ盛りに涼しげな蓮の花が綺麗で有名な二つ池。この池は今から百数十年前に村の灌漑用水地として作られたそうだ。現在は水道施設などの発達により、二つあった池も一つは埋め立てられて公園となり、池を含めて小鹿公園となっている。水上に東屋もある。

インターネットで「二つ池 静岡市」を検索すると、いろいろなページが検索できる。多くのファンを持つ二つ池だ。

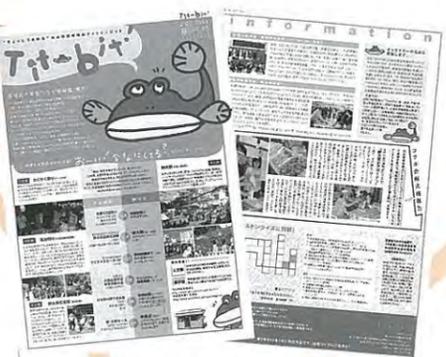


16 大谷街道発展会と静大生

大谷街道を元気にするため、現在片山商工会を中心に、西大谷、東大谷、小鹿、池田各地区の商店等が大集合して盛んに「地域おこし」をしている。お祭りにイベント性を加味し、地域の活性化を図り、大谷街道のガイドマップの作成や、街の美化運動の推進などを行っている。先を見据えた着実な活動は、親元を離れて暮らしている学生達に大学生活4年間を乗り切るパワーと安心感を与えてくれる。

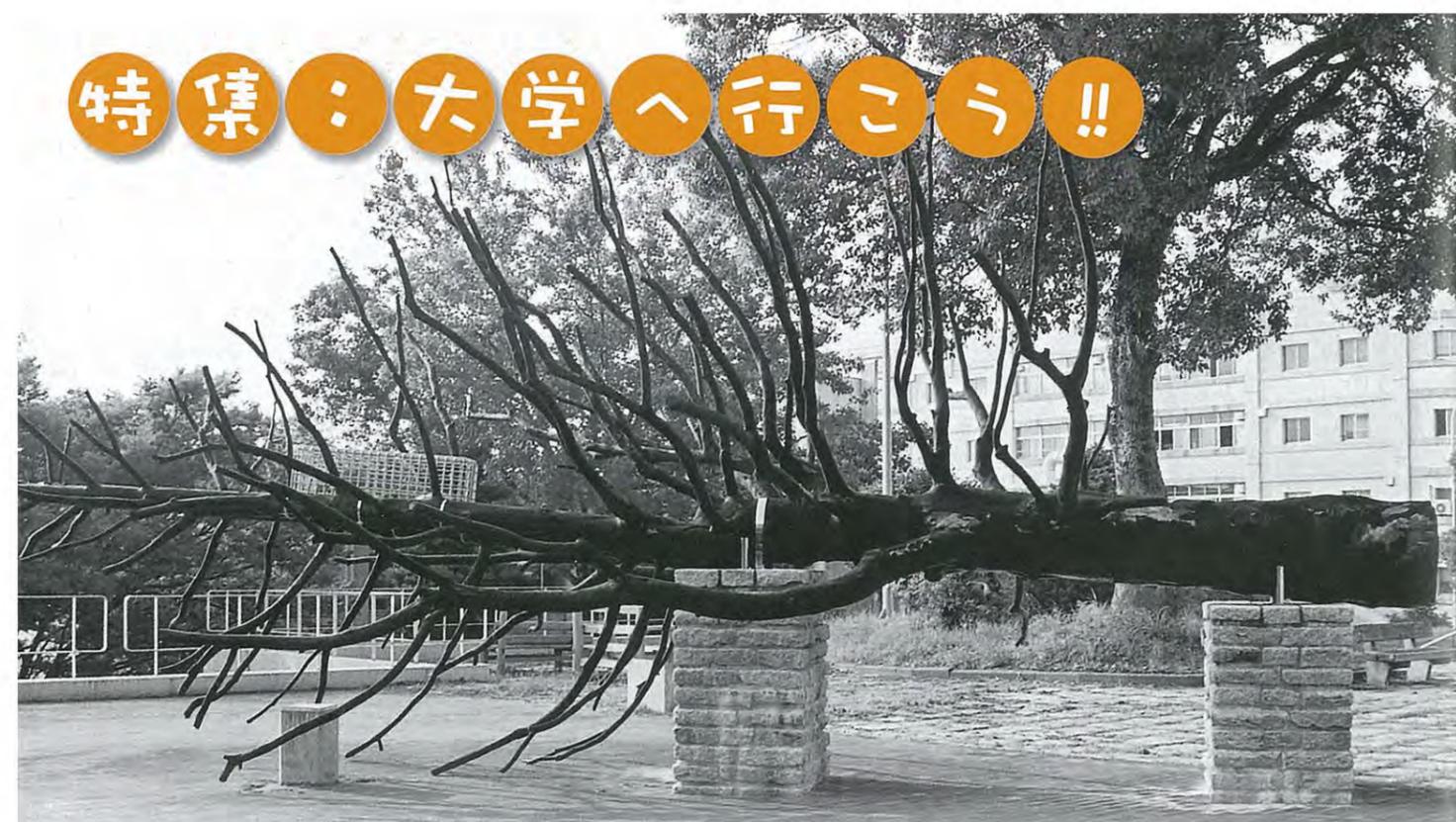
最近では、地域住民&静岡大学&静大生という3者相互が素敵な関係を保ち、「静大のあるまち」として共生している。地域の活性化と大学の地域活用の可能性を見出し、新たな大谷街道を創造しているのである。「静大」は気軽に入れる構内、大学施設の積極的な利用、先生による地域講座の実施など、地域住民にとって身近な存在に生まれ変わろうとしている。一方「静大生」は地域住民にとって素晴らしいパートナーだ。学生達は4年という短い付き合いだが、入替わりで途切れることなく、代々の継承により大きな存在感を顕にしている。

大谷街道発展会の代表である「やまだサイクル」の山田篤さんは、静岡大学と共に西草深町から大谷に引っ越し、長年静大生と付き合い合ってきた。地元住民と学生との関係について、「とにかく顔を見て話をすること、お互いに会話をすることが大事なんだよね。まだ社会人としては未熟な彼らだけれども、学生達はきちんと向かい合って話をすればとてもよく理解してくれる。頼んだ以上のことを自らやってくれるとても頼もしい存在だ。使うのは年長者のちょっとした心遣いかな」と語る。大谷街道はあったかくて頼りになる人達と若い学生パワーで、今後どのように発展していくのか、とても楽しみである。



大学の周辺を中心に数多くの定食屋があるのもこの地域の特色。「校外の学食」をうたう店もあり、学生のおなかとお財布に優しいのが特徴。大盛りのご飯にたっぷりのおかず、偏食になりがちなひとり暮らしの学生にとっては心強い限りだ。

特集：大学へ行こう!!



静岡大学は現在の城北公園の地に昭和24年の新築校舎を設置後、昭和45年に大谷地区キャンパスへと移転。

以来40年以上、多くの学生を送り出してきた大谷キャンパスに潜入してみた。

大学に部外者が入っていいの?と思われる方も多いかもしいが、各部署で市民開放事業を展開しており、図書館など普段から一般の利用を受け入れているところもある。また春には桜並木が広がり、秋にはアメリカフウの紅葉やイチョウ並木がひろがる大学の中を散策してみるのはいかが。

国立大学法人 静岡大学

平成16年4月より全国の国立大学が法人化となった。法人になるということは、今までのように国の組織ではなく、文部科学省をパートナーとしながらも、独自の判断で自主的、自律的な大学運営を行っていくということである。これを契機に地域とのつながりについても様々な積極的な取組みを企画している。

静岡大学生涯学習教育研究センター

地域への大学開放と生涯学習の普及を目的に平成9年に設立された。地域社会に開く「大学の窓」として、公開シンポジウムや公開講座、市民開放授業、市町村連携講座など、様々な事業で地域と大学をつないでいる。

中でも「しずだいで飛ぶ教室」は、静岡大学の地域連携の大学開放事業で、地域が企画する「学びの場」に静大が飛んでいくというユニークなもの。講師の派遣や企画の相談も受け付けている。

▲ 図書館前にあるオブジェ



▲ 図書館 外観



▲ 図書館 4Fの様子



静岡大学附属図書館

一般公開していて、学外の人も貸し出しや閲覧などのサービスを利用できる。大学の学部分野に関わる書籍を静岡本館には約90万冊所蔵しており、このうちかなりのものについては、館外から図書館ホームページで検索可能である。またデータベースや電子ジャーナル(学会誌など3,400タイトル)など電子図書館としての機能も充実している。約12万冊が開架されているフロア以外に書庫のフロアがあり、旧制静岡高等学校時代から引き継いだ書籍も含め、数々の資料が保存されている。

大学の試験期間になると学生達であふれ返るので、大学の試験期間は避けて利用したい。

静岡大学キャンパスミュージアム

校内の様々な場所に収蔵されてきた研究資料を整理・保存し再活用することを目的として設置された施設。大学創立50周年(平成11年)にあわせて公開された。

静岡県内の遺跡などから発掘された土器や、大谷キャンパス内の古墳群から出土した遺物の展示や国内有数の火山研究の成果、幹の直径2mを超える白糸の神代杉など、見るだけで圧倒される試料の数々を見学できる。通常授業開講日の毎週火・木曜日の正午～午後3時まで開館している。

静岡大学法科大学院

今年4月、静岡大学法科大学院が開校した。地域社会を担う法曹(実務法律家)を育成するため、特色あるカリキュラムが組まれている。

在外外国人や中国貿易・取引等、静岡県に特有な問題も多い。「中国企業法」や「在外外国人と法」等の授業科目を取り入れることで、より地域に根ざした法曹の育成に力を入れている。

また、同じような特色を持つ地域に設立された新潟大学や北海学園大学の法科大学院とも連携が行われ、地域の国際化に対応する教育プログラムも実施されようとしている。

昨今、日本の社会自体の法に対する意識が変わってきている。DV(ドメスティック・バイオレンス)の問題、情報公開、個人情報問題、企業・団体等でのコンプライアンス(法令順守)への要請、医療・薬品の問題等、市民生活や企業活動の中において、「法」が身近なものとして意識されるようになってきた。法科大学院の入学者も様々な年齢や出身学部の学生で構成され、社会人経験者も多いことからうかがえる。

このような社会的なニーズの中で、地域との実際的な連携も展開されようとしている。法科大学院のカリキュラムとして、エクスターンシップが組み込まれ、学生が地元の企業や自治体に派遣される。また、法律相談の場を設けたり、シンポジウムが開催されたり、労働法の授業をペガサートで実施する等の試みも計画されている。

今後ますます法曹への期待が高まる中で、地域と共に歩む実務法律家が誕生するのが待ち遠しい。

※教育・研究支援や奨学制度への支援として寄附金も随時受け付けている。



▲ 法定教室



▲ 院生自習室

▲ 共同自習室

大谷キャンパスの自然

キャンパス内は様々な植栽で彩られ、季節ごとにいろいろな顔を見せてくれる。

春のおすすめは、理学部棟まえに植えられている桜並木。全て種類の違う桜が植えられており、順番に咲くように並べられているとのこと。一度確かめてみては?

秋の紅葉のシーズンもおすすめ。「定年坂(登れなくなったら定年とのうわさから命名されたとのこと)」から図書館まで延びるイチョウ並木は秋になると黄色一色にそまりとても美しい景色を見せてくれる。

静岡大学と地域

大学と地域との連携で注目したいのが、「市民と静大・共同企画講座をすすめる会」通称 アップレ会の活動である。

アップレ会は平成16年9月シズオカ文化クラブのメンバーや静岡大学の教員など24人が発起人となり設立した。その一つの試みとして市民と大学とが共同で講座を企画運営している。「豊かな想像力を備えた、よりよい社会人を、大学と一体となって育ていく」という意味で、地域にとっても大きな財産になる。こうした事業の必要性を、市民の側が明確に支持し、財政的にも支えていくことが大切」とのこと。

講座以外にも、静岡の文化を紹介する様々なイベントを企画展開しており、この全国でも例のない取り組みを気軽に体験することが出来る。また様々なイベントの運営には学生スタッフも多くかかわっており、学生と社会人との交流の場としても機能を発揮しているようだ。また、平成17年11月より、講座の中から生まれたプロジェクトとして「天晴れ門前塾」が始まる。学校の枠を飛び出した学生が、第一線で活躍する社会人のもと、その生き方や、時には粋な遊びを「真似びで学ぶ」。今後の静岡を担う人材が育つことを願う。アップレしずおか!!

静岡音楽館AOI開館10周年記念・静岡市政令指定都市移行記念

コンサートシリーズ2005/2006 芸術監督：野平一郎

トン・コープマン チェンバロ&オルガン・リサイタル

11/29(火) 19:00 開演 (18:30 開場)
全指定 ¥5,000 (会員 ¥4,500)

トン・コープマン (チェンバロ、オルガン)
ティニ・マトー (チェンバロ)

W.A.モーツァルト: アンダンテと5つの変奏曲 ト長調 K.501
J.S.バッハ: フーガの技法 BWV1080 より
前奏曲とフーガ ハ長調 BWV547、ハ短調 BWV546
目覚めよ、と呼ぶ声あり BWV645
小フーガト短調 BWV578 ほか

ここAOIに、歴史に名を残す古楽界の巨匠が登場。しかも一晩でチェンバロとパイプ・オルガンのリサイタルが聴ける最高の贅沢。

ピエール＝ロラン・エマール ピアノ・リサイタル

12/3(土) 18:00 開演 (17:30 開場)
全指定 ¥4,000 (会員 ¥3,600)

ピエール＝ロラン・エマール (ピアノ)

C.ドビュッシー: 前奏曲集 第1集 より
<沈める寺> <野を渡る風> <雪の上の足あと>
P.ブレーズ: ピアノ・ソナタ第1番
M.ラヴェル: 夜のガスパール
R.シューマン: 交響的練習曲 op.13

あの鬼才P.L.エマールがいよいよ静岡に。その本領が発揮されるフランス近現代の作品に、期待昂まるシューマン!

オーケストラを聴こう

日本フィルハーモニー交響楽団
12/8(木) 19:00 開演 (18:30 開場)
全指定 ¥5,000 (会員 ¥4,500)

海老彰子 (ピアノ)、沼尻竜典 (指揮)
日本フィルハーモニー交響楽団

W.A.モーツァルト: 歌劇《フィガロの結婚》K.492 序曲
ピアノ協奏曲第27番 変ロ長調 K.595
L.v.ベートーヴェン: 交響曲第5番《運命》ハ短調 op.67

日フィルを率いて沼尻竜典がAOIに再登場。
W.A.モーツァルトの序曲と協奏曲にベートーヴェン《運命》の正統派プログラム。

[主催] 静岡市 [企画・制作] 静岡音楽館AOI・(財)静岡市文化振興財団
[共催] 静岡新聞社・静岡放送 [特別協賛] 静岡信用金庫 TOKAI
[お問合せ] 静岡音楽館AOI TEL.054-251-2200

静岡音楽館 AOI
http://www.aoi.shizuoka-city.or.jp

大学生以下
¥1,000!!

※静岡音楽館AOIでは、小さなお子様にもよい音楽を聴いていただきたいと考え、未就学児童の入場を制限していません。小さなお子様をお連れのお客様は、ほかのお客様のご迷惑にならないよう充分にご注意ください。
【託児サービスについて】小さなお子様を持つ方々にもゆとりとお楽しみいただけるように、AOIが主催するコンサートには、託児サービスを設けます。ご利用は0~10歳児位まで、託児料はお子様1人あたり¥1,000です。ご予約が必要ですので、コンサートの1週間前までにご連絡ください。すわん TEL.054-247-7477 (受付時間 9:00~21:00)

2006

シリーズ・若い翼 平野公崇 サクソフォン・リサイタル

1/21(土) 18:00 開演 (17:30 開場)
全指定 ¥3,000 (会員 ¥2,700)

平野公崇 (サクソフォン)、山田武彦 (ピアノ)

J.S.バッハ: ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタとチェンバロのためのソナタ第3番 ト短調 BWV1029

C.Ph.E.バッハ: フルート協奏曲 イ短調 Wq.166 ほか
クラシックから現代作品、即興、ジャズ……。幅広いジャンルを疾風のごとく、なおかつ柔軟に軽やかに駆け抜ける。その鋭い感性と卓越したテクニック!

ニューイヤー・オペラ・コンサート

W.A.モーツァルト: 歌劇《コシ・ファン・トゥッテ》

1/27(金) 19:00 開演 (18:30 開場)
全指定 ¥5,000 (会員 ¥4,500)

高橋知子 (フィオルティージ)、林美智子 (ドラベッラ)、
望月哲也 (フェランド)、成田博之 (クリエルモ)、
池田直樹 (ドン・アルフォンソ)、砂田恵美 (テスビーナ)、
河原忠之 (ピアノ)

次々にあふれ出す美しい重唱に乗せて繰り広げられる
ドタバタ、ハラハラのおはなし。6人のすばらしい歌い手が
そろってここのこのオペラ。

親子のためのコンサートII

100曲! リクエスト・コンサート

2/26(日) 15:00 開演 (14:30 開場)
全自由 ¥3,000 (会員 ¥2,700)

松原有奈 (ソプラノ)、山下牧子 (メゾ・ソプラノ)、松永国和 (テノール)、
小森輝彦 (バリトン)、池田直樹 (バリトン、司会)、飯田俊明 (ピアノ)

あなたが創るコンサート! オペラ・アリアから童謡まで百「歌」練乱、リクエストにお応えします。あなたの心に残る1曲を探しにきませんか?

J.S.バッハ: マタイ受難曲

3/18(土) 18:00 開演 (17:30 開場)
全指定 ¥5,000 (会員 ¥4,500)

小林道夫 (音楽監督、指揮)
静岡児童合唱団 & 青葉会スベリオルほか

偉大なる音楽の父、J.S.バッハが生み出した人類史上、最高傑作《マタイ受難曲》。AOIが渾身の力をこめて贈る一大プロジェクトです。

【チケットお取扱い】 静岡音楽館AOI・インフォメーション (7F) TEL.054-251-2200

※お電話予約の際、お席の指定はご遠慮ください。
すみや静岡本店 TEL.054-251-1233 / 谷島屋呉服町本店 TEL.054-254-1301 / 清水文化センター TEL.0543-54-1311 / チケットぴあ TEL.0570-02-9999 【おもなチケットぴあのお店】 すみや静岡本店 ● 静鉄オレンジプラザ・P ● 丸井静岡店A館8階 ● 松坂屋静岡店本店6階 ● グランシップ チケットセンター ● ファミリーマート ● セブン-イレブン ● サークルKサンクス (一部地域・店舗を除く) ●
※会員割引、大学生以下のチケットは静岡音楽館AOIのみでお取扱いします。

From Editor

編集
後記

◆かなり広いエリアの特集となってしまいました。有名所あり、隠れたスポットあり…。お散歩というより、自転車でも廻った方がいいかも…。
◆大学、地域、企業…。垣根を越えた取り組みが進んでいます。ぜひ「知らない世界」をのぞいてみてはいかが?
◆皆様がお持ちの情報をもとに取材したいと思えます。ご意見・ご感想・情報をドンドンお寄せください。

参・考・文・献

- 市制100周年記念事業「駿府の歴史」 静岡市観光協会
- 『大谷誌』 編者:安本博 発行:大谷誌編集委員会
- 『東豊田郷土誌』 編者:飯塚伝太郎 発行:東豊田郷土誌編集委員会
- 開校70周年記念郷土誌別冊『ふる里東豊田』 編集:ふる里東豊田編集委員会 鷲坂一浩 発行:東豊田小学校PTA 平井淳男
- 写真提供(あの日の時・片山庵寺跡) 神谷定吉氏 増田作一郎氏

静岡文化情報「街かど」第26号

- 発行(年2回) 平成17年10月
- 編集・発行 (財)静岡市文化振興財団 〒420-0031 静岡市葵区呉服町二丁目1-1 札の辻ビル6階 TEL.054-255-4746/FAX.054-653-3501 E-mail:bunshin@world.ocn.ne.jp
- 印刷 株式会社パピア中央 静岡市駿河区小鹿一丁目62番18号



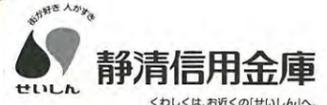
今も、昔も、 ご近所主義。

大正11年
静岡信用金庫は
この街に生まれました。
そして、今
お客様一人一人に支えられて
この街に「信頼」という
根をしっかりと
お客様一人一人と対話し
お客様一人一人の「夢」を
応援しつづけています。
そう、これからもずっと…



『今も、昔も、ご近所主義。』宣言!

2005キャンペーン
平成17年10月3日(月)~平成18年3月31日(金)



静岡信用金庫
くわしくは、お近くの「せいしん」へ。

健康づくり宣言 応援します。



YURARA ゆるら

ご案内



〒420-0095 静岡市葵区沼上1379-1 TEL.054-263-3456

東静岡駅北口より無料シャトルバス
東静岡駅発 9:20 10:20 12:20 14:20 16:20 18:20

350台

●開館時間/10:00~22:00(日・祝日のみ20:00まで)
●休館日/毎週火曜日
※開館清掃工場の法定点検中は約2週間の閉館となります。

●ホームページアドレス
yurarashizuoka.com

区分	大人	子供 <small>3歳以上小学生まで</small>
全日使用券	1,200円	600円
夜間使用券(18時以降)	600円	300円
回数券(6回分)	6,000円	3,000円
団体使用券(15人以上)	800円	400円
3月使用券 <small>(60歳以上)</small>	9,000円	4,500円
年間使用券	25,000円 18,000円	12,500円

※1日使用 期間満了

「ゆらら」は、隣接の清掃工場の余熱を利用した県内初のエネルギー循環型の温浴施設です。

中学校3年生のみなさまへ

学校法人 駿河学院	学校名・連絡先など	対象地域	こんな方にぴったりです	技能連携先
	駿河学院実務専門学校 [※] 〒420-0834 静岡市葵区音羽町19番22号 TEL.054-247-9933 〈URL〉 http://www.suruga-gakuin.ed.jp	静岡市 (旧静岡市)	○高等学校卒業資格取得を希望する方 ○まじめで落ち着いた学校生活を希望する方	科学技術学園高等学校
	清水学院実務高等専修学校 〒424-0811 静岡市清水区二の丸町58番1号 TEL.0543-65-9933 〈URL〉 http://www.shimizu-gakuin.ed.jp	静岡市 (旧清水市)	○社会で「働く」ことを意識して学習したい方 ○少人数クラスでの学習を希望される方 ○パソコンを楽しく学びたい方	
	藤枝学院実務高等専修学校 〒426-0017 藤枝市大手1丁目253番15号 TEL.054-641-9933 〈URL〉 http://www.fujieda-gakuin.ed.jp	藤枝市 焼津市 島田市 志太郡	○自分で進路を決めたい方 (昨年度進路決定率98%)	
	静進情報高等専修学校 〒420-0834 静岡市葵区音羽町26番31号 TEL.054-200-5515 〈URL〉 http://www.seishin-joho.ac.jp	静岡市 藤枝市 焼津市 島田市 志太郡	○高等学校卒業資格取得を希望する方 ○まじめで落ち着いた学校生活を送りたい方 ○不登校生のみを対象にしています。 ・不登校・相談室登校・適応指導教室など ○少人数クラスでの学習を希望する方 ○パソコンを楽しく学びたい方 ○自分で進路を決めたい方 (昨年度進学決定率98%)	

※高卒以上対象の専門課程 自動車整備科を併設しているため、学校名が「専門学校」になっていますが、高等課程 商業科は中学校卒業者が対象です。

入学相談会開催

11月

月	火	水	木	金	土
入学相談会を11月17日(木)より、各地域公民館等で開催いたします。お気軽にお越しください。 また、個別対応となりますので、詳細につきましては学校法人駿河学院各校までお問い合わせください。			17 用宗公民館 駿河 静進 ①②③ 清水辻公民館 清水 静進 ①②③ サンライフ焼津 藤枝 静進 ①②③	18 南部公民館 駿河 静進 ①②③ 清水折戸公民館 清水 静進 ①②③ 藤枝市民大洲温水プール 藤枝 静進 ①②③	19 北部公民館 駿河 静進 ①②③ 清水不二見公民館 清水 静進 ①②③ 清水浜田公民館 清水 静進 ①②③ 焼津市総合福祉会館 藤枝 静進 ①②③
21 西部公民館 駿河 静進 ①②③	22 大里公民館 駿河 静進 ①②③ 清水高部公民館 清水 静進 ①②③ 清水公民館 清水 静進 ①②③ 藤枝市民文化センター 藤枝 静進 ①②③	23 西奈公民館 駿河 静進 ①②③ 六合公民館 藤枝 静進 ②③	24 原田公民館 駿河 静進 ①②③ 清水袖師公民館 清水 静進 ①②③ 高洲公民館 藤枝 静進 ①②③	25 国吉田公民館 駿河 静進 ①②③ 清水飯田公民館 清水 静進 ①②③ 町民センターおかべ 藤枝 静進 ①②③	26 長田公民館 駿河 静進 ①②③ 清水庵原公民館 清水 静進 ①②③ 清水有度公民館 清水 静進 ①②③ 福祉センターほほえみ 藤枝 静進 ④
28 曇科公民館 駿河 静進 ①②③	29 アイセル21 駿河 静進 ①②③ 清水興津公民館 清水 静進 ①②③ プラザおおるり 藤枝 静進 ①②③	30 東部公民館 駿河 静進 ①②③ 清水三保公民館 清水 静進 ①②③ 清水文化センター 清水 静進 ①②③ 焼津市文化センター 藤枝 静進 ①②③	〈対象校〉 駿河 駿河学院実務専門学校 清水 清水学院実務高等専修学校 藤枝 藤枝学院実務高等専修学校 静進 静進情報高等専修学校		〈時間帯〉 ① 18:00~19:00 ② 19:00~20:00 ③ 20:00~21:00 ④ 13:00~17:00

※12月にも各地にて入学相談会を開催する予定です。